

国立国語研究所学術情報リポジトリ

移動動詞に関する通言語的実験研究： 日本語とバスク語

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 松本, 曜, 石塚, 政行 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003403

移動動詞に関する通言語的実験研究～日本語とバスク語～

松本曜・石塚政行
(理論・対照研究領域)

プロジェクトの目的

移動事象をどのように言語化するのか
統一的な実験によって20の言語を調査する。
世界の諸言語の共通性と差異を明らかにし、
その中で日本語がどのように位置づけられるかを考察する。

背景 | 経路の表現位置による類型論

Talmy (1991, 2000) の提案

- 動詞枠付け言語と付随要素枠付け言語
- スペイン語・日本語などは経路を**主動詞**で表現する
→動詞枠付け言語

*La botella **salió** de la cueva flotando.*
the bottle moved.out from the cave floating

- 英語などは経路を**付随要素**（不変化詞）で表現
→付随要素枠付け言語

*The bottle floated **out** of the cave.*

松本 (Matsumoto 2018, in press など)

- 主要部表示型と主要部外表示型に再分類
- 経路の種類などによって表現型は変異し、両者には程度性がある
- 直示は無視できない。経路と分けて考えるべき

実験 | ビデオクリップを用いた文産出実験

- 人が自らの意志とする移動（主体移動）を撮影
- 以下の3種類の様態・経路・直示の組み合わせからなる27のクリップを使用
 - ▶ 様態 (M) : Walk, Run, Skip
 - ▶ 経路 (P) : To, Into, Up
 - ▶ 直示 (D) : Twd S, Awy frm S, Neutral (S=話し手)



結果 | 日本語とバスク語は共に動詞枠付け言語（主要部表示型）とされてきたが、二つの間にはいくつかの違いがある。また、どちらも純粋な主要部表示型ではない。

日本語：直示性を主要部に置く。複雑述語のテ形動詞を拡大主要部と見なせば主要部表示型。

バスク語：経路を格語尾、後置詞などの手段のみで表す率が比較的高い。

両言語とも、TOは主要部外要素（名詞関連要素）で、UPは動詞で、INTOはその両方で表す傾向があり、他の言語の傾向と一致する。

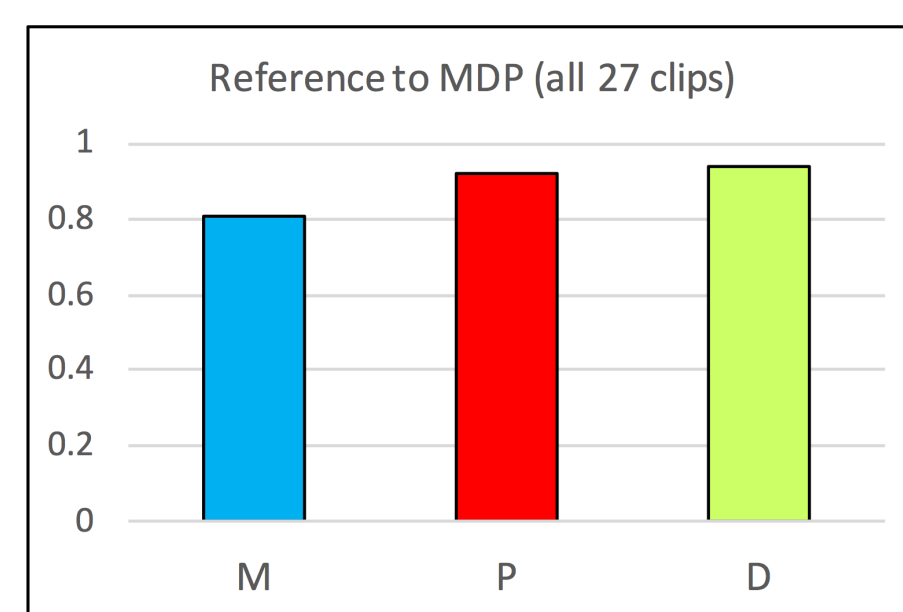
日本語 | 担当：古賀, 吉成

典型的な例

- 友達がこっちに向かってやってきた。
- 友達が休憩所の中にスキップをしながら入って行きました。
- 友達が階段をのぼってきた。

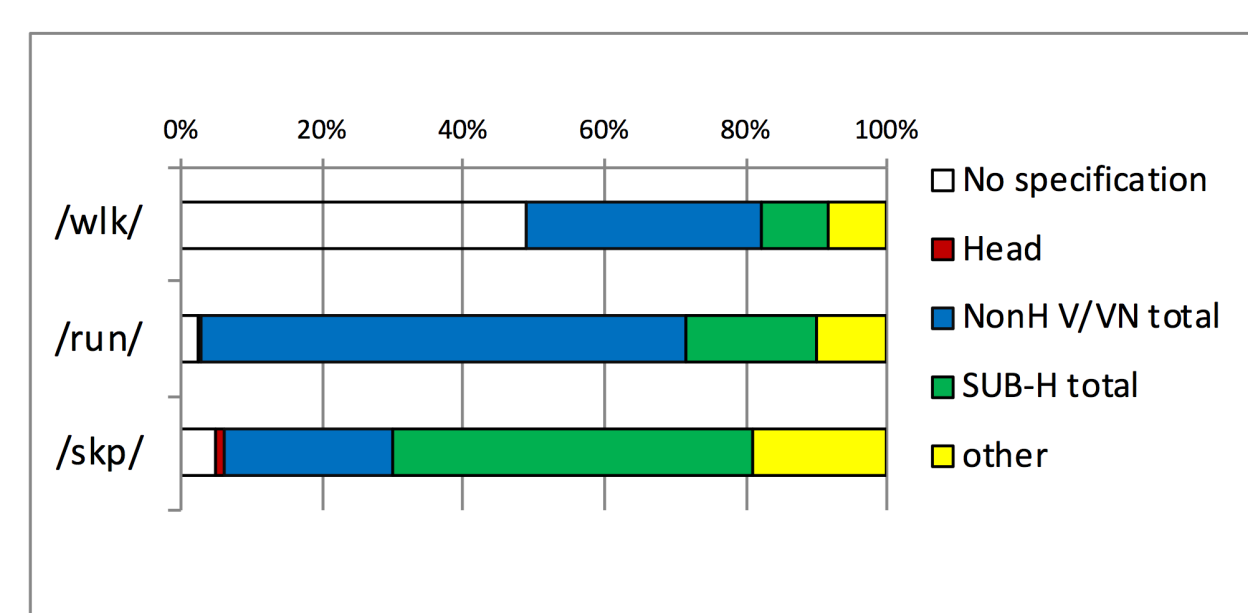
MPD言及率

- 直示への言及率が高い
- 必ず主動詞で直示が示される



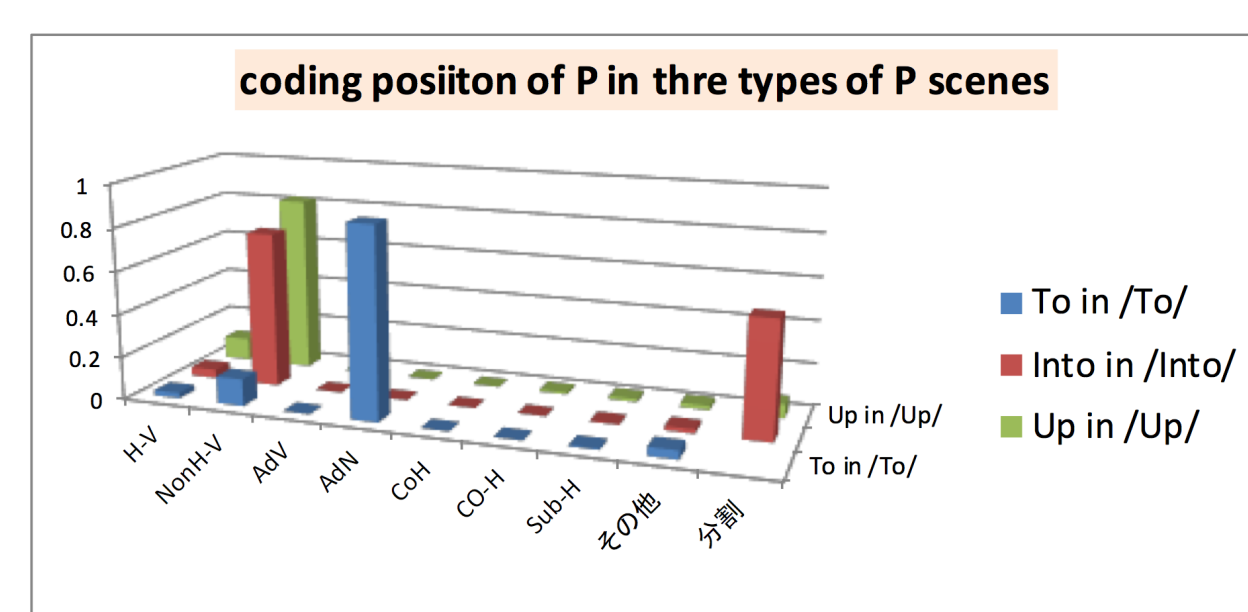
様態の表現

- テ形動詞で示される場合が多い
- ただし、WALKの場合は省略が多く、SKIPはナガラ節も多い



経路の表現

- 経路はテ形動詞と格助詞などで表される
- タイプによって表現方法の傾向が異なる
 - ▶ TOは格助詞
 - ▶ INTOはテ形動詞と位置名詞+格助詞
 - ▶ UPはテ形動詞



考察

テ形動詞を拡大主要部の一部と見なせば、主要部表示型ということになる。（全体として、経路の拡大主要部コード化率は64.5%）
しかし、直示を主要部に置く点で、スペイン語やフランス語のような純粋な主要部表示型言語とは異なる。

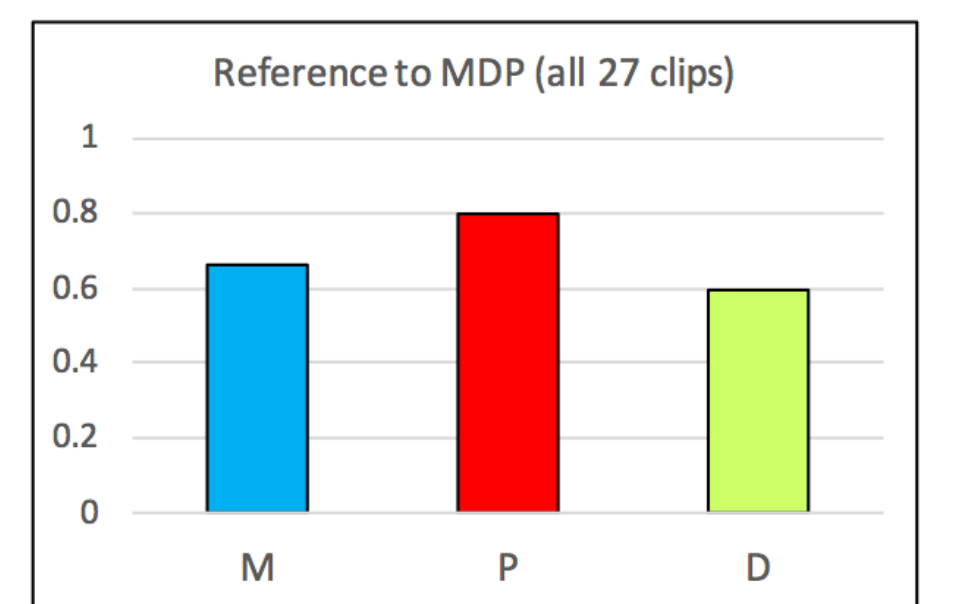
バスク語 | 担当：石塚

典型的な例

- Ene adiskidea heldu zait lasterka.*
my friend come to.me running(ADV)
- Eskelerak igan_ditu xingilika.*
stairs ascend skipping(ADV)

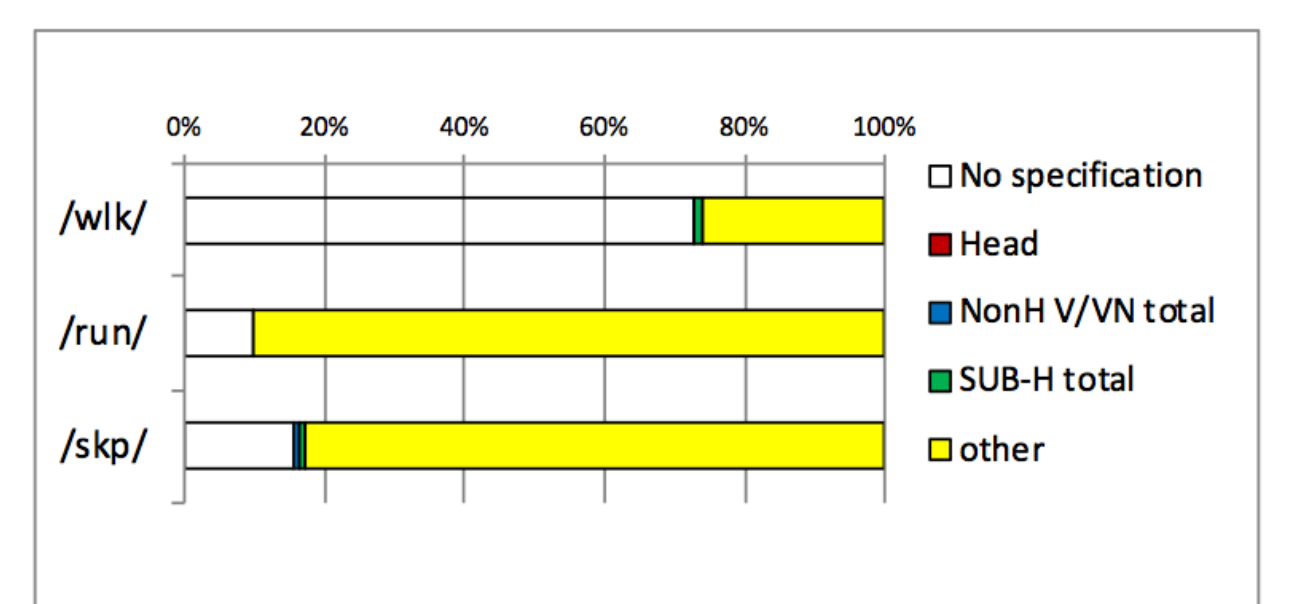
MPD言及率

- 直示性への言及率が比較的高い
- 必ずしも直示が主動詞になるわけではない



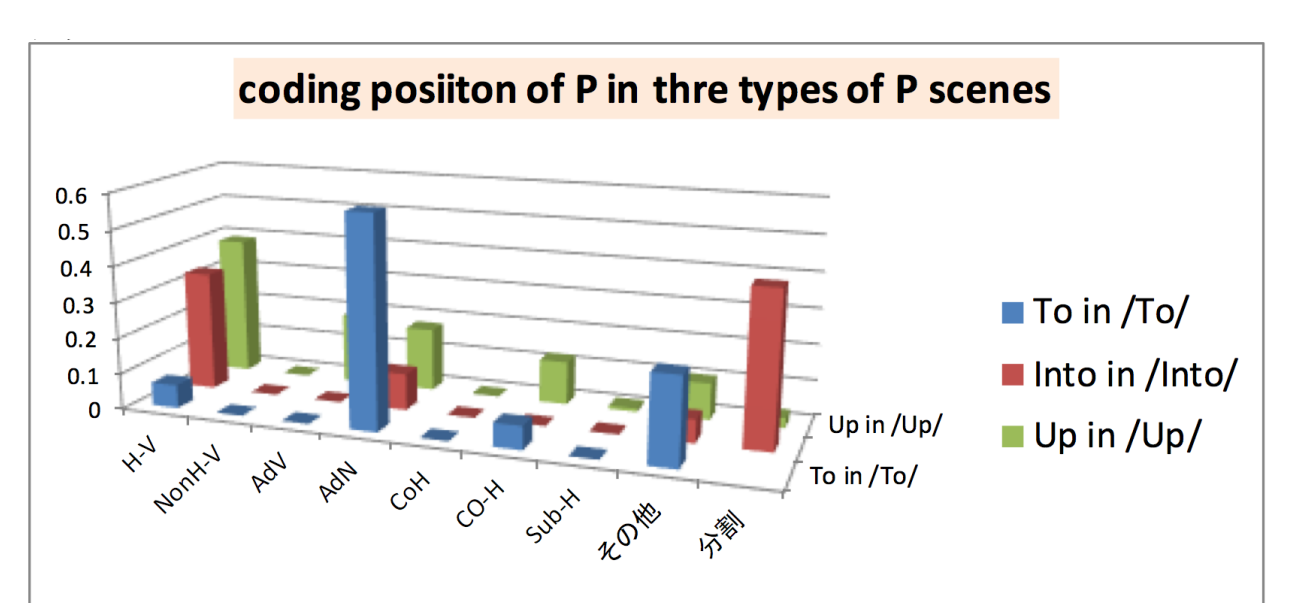
様態の表現

- ほぼ必ず副詞で表現される
- 日本語のテ形に当たる副動詞形はあまり用いられない



経路の表現

- 日本語と同じくタイプごとに異なる
 - ▶ TOは格助詞
 - ▶ INTOは位置名詞+格助詞or主動詞
 - ▶ UPは主動詞
- 位置名詞+格助詞や不変化詞などの非主要部が経路を表す場合、主動詞は直示動詞になる傾向
→「中へ来る・上へ行く」に類する表現が普通に用いられる



*Lasterka etxe **barne-ra jin_zau-t.***
running(ADV) house inside-to came-to.me

考察

経路は一定の割合で主要部表示されるが、種類によって変異する。主要部外で経路が表現される場合には直示を主要部に置くという点で純粋な主要部表示型言語と異なる。